

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ミズホテクニカルラボ	階数	地上2F
建設地	京都府木津市州見台7丁目30番地	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	事務所, 工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年6月 予定	評価の実施日	2010年11月20日
敷地面積	16,796 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	2,527 m ²	確認日	
延床面積	3,327 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	89%
③上記+②以外のオンサイト手法	89%
④上記+オフサイト手法	89%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	2.5
温熱環境	3.0
光・視環境	2.7
空気環境	2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.6
耐用性・信頼性	3.1
対応性・更新性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

生物環境	4.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物の熱負荷	1.2
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.4
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	3.2
汚染物質回避	2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化への配慮	3.4
地域環境への配慮	2.5
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	周囲の自然環境を損なわず、また近隣周辺に圧迫感を与えないように低層建物とし、清潔感のある色合いの外観とした。 植物は周辺の山地に自生する樹種を用い、自然環境にあった植栽計画とした。	その他 0
Q1 室内環境	F☆☆☆☆材料を可能な限り全面的に使用した。 高効率照明器具を使用した。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	外壁に断熱性能が比較的高いALC版を採用し、大きな開口部も出来るだけ減らした計画とした。工場内は天井を設け、グラスウールを敷込むことで断熱性を高めた。	LR2 資源・マテリアル
		LR3 敷地外環境 地域周辺に調和するデザイン(色調)とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい